

御寄附いただいた企業版ふるさと納税は、北上市を代表する観光地である展勝地の桜並木長寿命化対策事業に活用しています。

1 展勝地桜並木について

北上川沿い約2キロに渡る展勝地の桜並木に植栽されている桜のほとんどはソメイヨシノです。一般的には寿命が約60年とされていますが、植栽されてから約100年が経過し、全体的に樹勢の衰退が目立ってきている状態です。そのため、桜並木の桜を楽しむことができるよう土壌改良を行う長寿命化事業を推進しています。



R5.4撮影 展勝地桜並木

2 計画と実施状況

並木の桜の本数は470本であり、進捗率は令和4年度末で約47%です。
【事業進捗及び予定表】

項目	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
計画 (本)	80	80	80	80	80	70	470
実施 (本)	97	125	77	(80)	(80)	(11)	470

(数字括弧書きは、予定本数。)

3 土中対策内容

作業は、桜の幹の根元から半径2m、深さ約30cmの範囲の土壌を掘ります。



床堀後

土壌改良材埋戻し完了

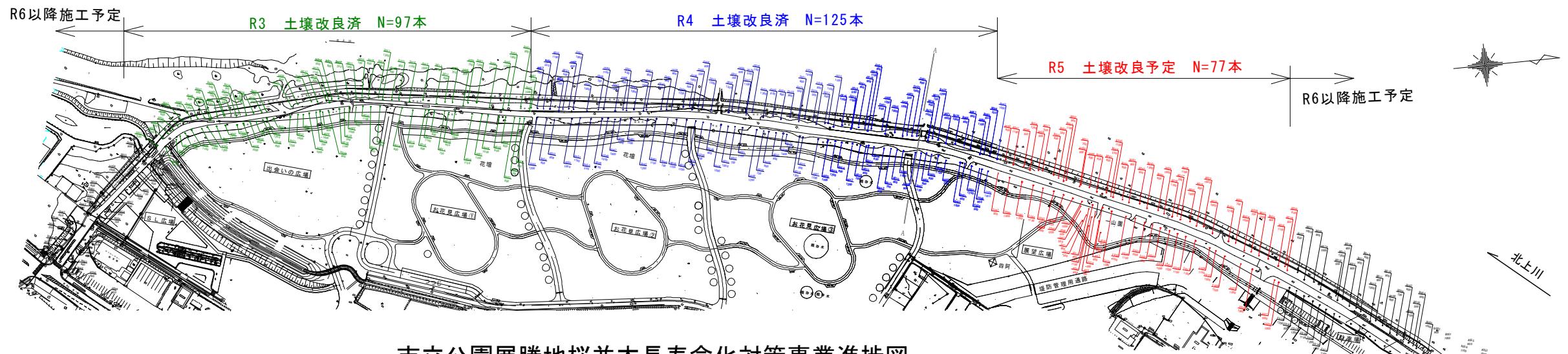
土壌を掘り起こした後に、新たな土を使用した入れ替えを行います。この場合の土等の構成は次のとおりです。

- ①新たな土 ②バーク堆肥 ③粉炭 ④肥料

4 土壌改良後の桜並木 (R5.4 撮影)



緑の濃い大きな葉がたくさんついて、花芽も増えています。



市立公園展勝地桜並木長寿命化対策事業進捗図